

2010年(平成22年)3月期 決算説明会

2009年4月1日～2010年3月31日

NJK 株式会社 エヌジェーケー
CORPORATION

2010.5.11

■ 当期(2009年度)の業績	2	■ NTTデータとの資本業務提携 について	19
業績サマリー	3		
セグメント別 業績	4	■ 次期(2010年度)の業績予想	21
各事業の概況	5	業績予想サマリー	22
会社別業績	14	セグメント別 業績予想	23
貸借対照表(連結)	15	各事業の概況	24
損益計算書(連結)	16	会社別業績予想	31
キャッシュ・フロー(連結)	17	■ 代表取締役の異動について	32
セグメント別受注実績(連結)	18		
		■ 付属資料	33
		会社概要	

本資料に記載されております計画、予測、戦略等の内、結果的事実でないものは、当社グループの業績に関する見通し及び目標であり、これらは現在入手可能な情報をもとに当社の経営陣が判断しているものであります。

したがいまして、これらの見通し及び目標に全面的に依拠することは控えて頂きますようお願い致します。事業業績は、経済情勢、顧客の属する業界での変化・変革（ただしこれらに限られない）など、事業を取り巻くさまざまな要因に影響され、これら見通し及び目標とは大きく異なる可能性があります。

（本資料の数字は単位未満切り捨てで表示しています。）



当期(2009年度)の業績

業績サマリー(連結)

情報化投資の減少により
主力のソフトウェア開発事業が
大きく落ち込み減収減益

(単位:百万円)

	07年度 (2008.3期)	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	増減 (前期比)
売上高	14,019	12,843	10,360	△2,482 △ 19.3%
営業利益	829	808	21	△787 △ 97.4%
経常利益	794	773	189	△584 △ 75.5%
当期純利益	321	687	43	△644 △ 93.7%
ROE(%)	3.21	6.71	0.42	△6.29
EPS(円)	22.74	48.30	3.11	△45.19
配当金(円)	12.00	12.00	9.00	△3.00

セグメント別 業績(連結)

- ・ ソフトウェア開発事業は大幅な減収減益
- ・ オリジナルパッケージ開発及び販売事業はOCRソフトが順調だが、他のカテゴリが伸びず赤字に

		07年度 (2008.3期)	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	増減 (前期比)	
売上高	ソフトウェア開発	10,075	9,428	7,085	△2,343	△ 24.9%
	ネットワーク機器・システム商品販売	2,177	1,529	1,561	+31	+ 2.1%
	オリジナルパッケージ開発及び販売	1,240	1,379	1,282	△96	△ 7.0%
	ハードウェア組立	486	478	405	△73	△ 15.3%
	その他	38	26	25	△0	△ 3.5%
	合計	14,019	12,843	10,360	△2,482	△ 19.3%
営業利益	ソフトウェア開発	902	842	51	△790	△ 93.9%
	ネットワーク機器・システム商品販売	4	△41	△8	+33	—
	オリジナルパッケージ開発及び販売	△92	1	△25	△27	—
	ハードウェア組立	△18	△13	△14	△1	—
	その他	30	19	15	△4	△ 23.0%
	合計	829	808	21	△787	△ 97.4%

ソフトウェア開発事業の概況

業務アプリケーション

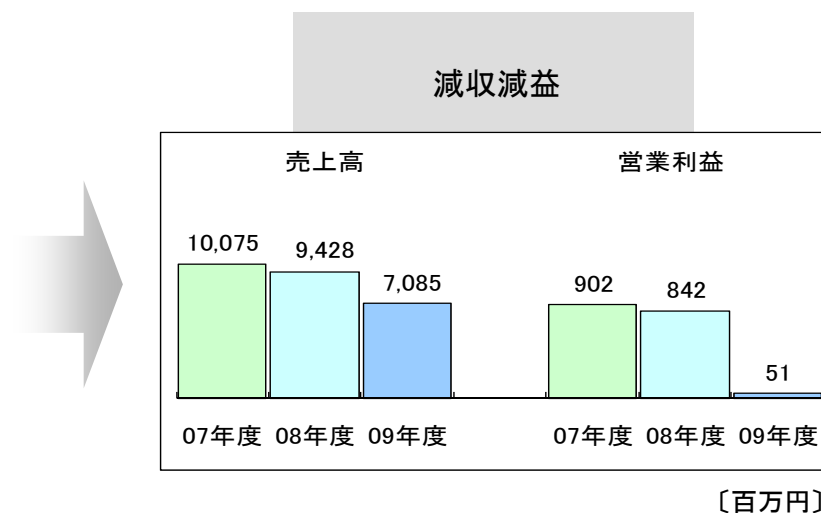
- × 公共向けの案件は、エンドユーザの投資抑制に伴い、開発案件の先送りや規模の縮小が顕著になった
- × 証券、生損保などの金融機関向け顧客常駐サービスは、既存のお客さまからの継続案件について要員の減少が相次いだ

組込ソフトウェア

- × 携帯電話端末ソフトは、携帯電話市場の停滞の影響により受注が低迷した
- × 通信システム関連やデジタル家電関連についてもメーカーの新規投資の抑制や内製化の継続などにより、受注が大きく減少した

〔共通〕

- 上記のような受注環境に対して、
- ① 協力会社要員の自社要員への切り替えを進めた
 - ② スキルアップや新技術習得のための研修を拡大した
⇒クラウド、Java、Oracle..



ソフトウェア開発事業の概況

顧客グループ別売上高

[百万円]

	08年度 (2009.3期)		09年度 (2010.3期)		増減 (前期比)	
	売上高	構成比	売上高	構成比		
NTTデータグループ	2,620	27.8%	↓ 1,791	25.3%	△828	△2.5p
NTTグループ	1,634	17.3%	↘ 1,413	19.9%	△220	+2.6p
ソニーグループ	1,370	14.5%	↓ 828	11.7%	△542	△2.8p
銀行・証券・保険	810	8.6%	↘ 663	9.4%	△147	+0.8p
東芝グループ	552	5.9%	→ 525	7.4%	△27	+1.5p
パナソニックグループ	740	7.9%	↓ 429	6.1%	△310	△1.8p
JR東日本グループ	182	1.9%	↗ 243	3.4%	+60	+1.5p
NECグループ	422	4.5%	↓ 203	2.9%	△218	△1.6p
その他	1,095	11.6%	↘ 987	13.9%	△107	+2.3p
合計	9,428	100.0%	7,085	100.0%	△2,343	

ソフトウェア開発事業の概況

主なシステム分野別売上高

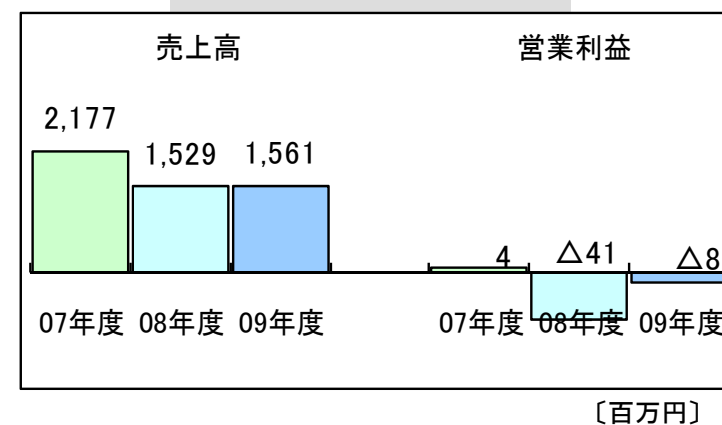
	[百万円]					
	08年度 (2009.3期)		09年度 (2010.3期)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	(前期比)	
基幹業務アプリケーション	3,290	34.9%	2,298	32.4%	△992	△2.5p
携帯電話端末ソフト	1,671	17.7%	1,559	22.0%	△111	+4.3p
通信システム関連	1,100	11.7%	1,013	14.3%	△87	+2.6p
デジタル家電関連	1,245	13.2%	751	10.6%	△494	△2.6p
ERPパッケージ導入支援関連	443	4.7%	338	4.8%	△105	+0.1p
道路交通・カーエレクトロニクス	255	2.7%	214	3.0%	△41	+0.3p
Webアプリケーション	268	2.9%	210	3.0%	△57	+0.1p
その他	1,152	12.2%	699	9.9%	△452	△2.4p
合 計	9,428	100.0%	7,085	100.0%	△2,343	

ネットワーク機器・ システム商品販売事業の概況

× 情報化投資の抑制により企業向けの受注が減少した

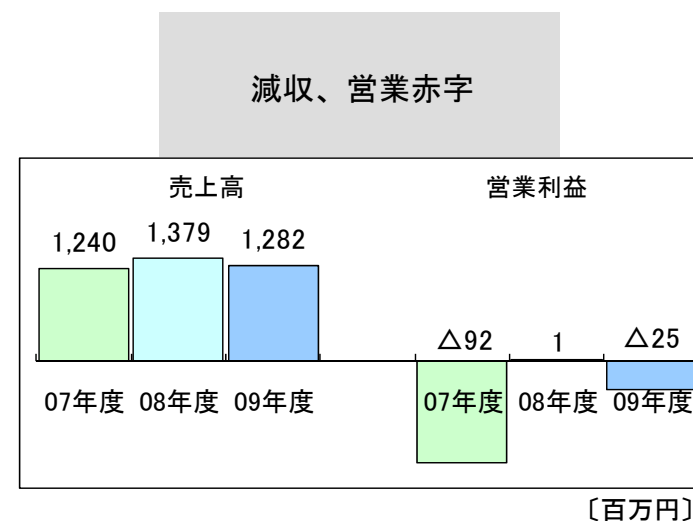
○ 文教向けのソリューション案件が大きく伸び、当事業を下支えした

売上高微増、損益改善



オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

- OCRソフト関連（メディアドライブ）は、コスト削減や業務の効率化といった観点から法人向けOCRソリューションが順調に推移した
- × OCRソフト以外のカテゴリについては、需要の低迷や案件の先送りなどにより、いずれも利益の獲得には至らなかった



オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

Natureシリーズ

- × お客さまの情報化投資の抑制により、BIなどの情報系システムの導入の先送りがいっそう顕著となり、新規案件が減少した

主なNatureシリーズの販売本数

製品名	09年度		08年度
	計画	実績	
DataNature/E	105	62	67
DataNature 6	960	846	1,488

BU I ソリューション

- × 法人向けサービスは引き合いはあるものの、受注の増加には至らず、個人向けサービスも利用者数が伸び悩む

(注) BU I ソリューションとは、「Natureシリーズ」としてパッケージ製品化してきた当社の独自技術BU I (ボタン・ユーザ・インターフェイス：日米欧で特許取得) をビジネス・インテリジェンス・ソリューション以外の用途、分野で利用するために、コアの技術をアプリケーションとして提供するものです。

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

マンション管理システム

×

獲得を予定していた大型案件が先送りになったことなどにより、
受注が減少した

マンション管理システムの販売セット数

製品名	09年度		08年度
	計画	実績	
FMS-V2	16	6	10
FMS-Info	3	1	3
FMS-工事	2	1	1

FMS-V2：管理組合収納・会計システム

FMS-Info：マンション管理会社のフロント業務
を支援するマンション総合情報システム

FMS-工事：総合工事管理、工事履歴管理などの
工事管理システム

セマンティックソリューション

×

DInqsは、利用者数は増加しているものの、
採算を大きく改善するには至っていない

企業情報の総合プラットフォームDInqs
ラインナップ

DInqs IR：適時開示情報分析システム

DInqs FR：有価証券報告書分析システム

DInqs PR：大量保有報告書システム

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況 (メディアドライブ)

OCRソリューション

- 医療、文教、人事関連などの市場向けの案件の獲得が順調に推移し、また、関連して保守やサービスの売上も伸びた

ライセンス販売

- △ 複合機市場の減速に伴い、ライセンス販売の伸びは鈍化した

パッケージ流通

- 「やさしく名刺ファイリング」や「e. Typist」などの主力製品は順調に推移した。
- 今期発売開始した「やさしく家計簿」も順調に推移した

主なOCRパッケージの販売本数

製品名	09年度		08年度
	計画	実績	
やさしく名刺ファイリング	12,100	14,457	13,486
e. Typist	3,800	4,362	4,303
やさしくPDFへ文字入力	4,000	5,717	5,747

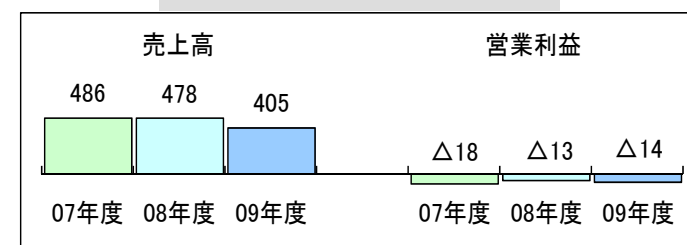
ハードウェア組立事業の概況 (NJKテクノ・システム)

×

主要取引先からの受注が低調に推移し、新規取引先からの受注の獲得で売上高の減少を補うことができなかった



減収、営業損失



〔百万円〕

会社別業績

		〔百万円〕			
		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
NJK(個別)	2008.3期	12,497	650	627	244
	2009.3期	11,364	620	605	600
	2010.3期	8,941	△149	24	△23
NJKテクノ・システム	2008.3期	811	17	22	18
	2009.3期	740	6	9	△9
	2010.3期	657	△12	△6	△23
メディアドライブ	2008.3期	886	158	162	90
	2009.3期	890	179	184	125
	2010.3期	922	180	183	103

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	増減 (前期比)
流動資産	10,642	9,701	△941
固定資産	4,194	4,516	+321
資産合計	14,837	14,217	△619
流動負債	2,723	2,637	△85
固定負債	1,641	1,289	△351
負債合計	4,364	3,926	△437
株主資本	10,856	10,719	△137
評価・換算差額等	△384	△428	△44
純資産合計	10,472	10,290	△181
負債、純資産合計	14,837	14,217	△619

資産の減少

流動資産の減少は、「有価証券」の減少や預金の一部を「長期預金」に振り替えたことによるものです。

固定資産の増加は、「長期預金」の計上や「ソフトウェア仮勘定」の増加などによるものです。

負債の減少

返済による「長期借入金」の減少や「未払賞与」の減少などによるものです。

純資産の減少

自己株式を消却し、また配当の支払いを行う一方で、当期純利益が僅かに止まったためであります。

自己資本比率

08年度末 70.6%

09年度末 72.4%

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	増減 (前期比)	
売上高	12,843	10,360	△2,482	△19.3%
売上原価	9,382	7,773	△1,608	△17.1%
売上総利益	3,461	2,586	△874	△25.3%
販売費及び一般管理費	2,652	2,565	△86	△3.3%
営業利益	808	21	△787	△97.4%
営業外損益	△35	168	+203	—
経常利益	773	189	△584	△75.5%
特別損益	53	△21	△75	—
税金等調整前当期純利益	827	167	△659	△79.7%
法人税等	138	124	△13	△10.0%
少数株主利益	1	—	△1	—
当期純利益	687	43	△644	△93.7%

売上原価の減少

売上原価の減少は、売上高の減少に伴い、ソフトウェア開発事業の外注加工費、労務費などが減少したことによりです。

販管費の減少

人件費や役員報酬などが減少しましたが、教育研修費が増加し、販管費合計の減少は僅かに止まりました。

営業外損益の主な内訳

主な営業外損益は次のとおりです。

08年度		
受取利息		+60百万円
投資有価証券評価損		△1億34百万円
09年度		
投資有価証券評価益		+55百万円
助成金収入		+32百万円

特別損益の主な内訳

主な特別損益は次のとおりです。

08年度		
有形固定資産売却益		+84百万円
投資有価証券評価損		△49百万円
09年度		
保険解約返戻金		+50百万円
アドバイザー手数料		△86百万円

キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	増減 (前期比)
営業キャッシュ・フロー	886	61	△825
投資キャッシュ・フロー	△366	84	+450
財務キャッシュ・フロー	△680	△591	+88
現金及び現金同等物の 増減額	△159	△445	△286
現金及び現金同等物の 期末残高	5,703	5,257	△445

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の減少などにより前期に比較して減少しております。

投資キャッシュ・フロー

当期は、市場販売を目的とするソフトウェアの開発に投資するなど無形固定資産の取得に1億46百万円を支出しております。

また、投資有価証券の売却により2億44百万円を得ております。

財務キャッシュ・フロー

借入金の返済や配当金の支払いなどに支出しております。

セグメント別 受注実績（連結）

（単位：百万円）

		07年度 (2008.3期)	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	増減 (前期比)
ソフトウェア開発	受注高	10,514	8,183	7,099	△1,083
	受注残高	3,926	2,681	2,694	+13
ネットワーク機器・ システム商品販売	受注高	2,106	1,555	1,615	+60
	受注残高	80	106	160	+54
オリジナルパッケージ 開発及び販売	受注高	1,328	1,378	1,252	△125
	受注残高	121	120	91	△29
ハードウェア組立	受注高	500	471	432	△38
	受注残高	49	41	69	+27
合 計	受注高	14,450	11,588	10,401	△1,186
	受注残高	4,178	2,949	3,016	+66

※上記の表は、その他事業セグメントを除いております。

NTTデータとの資本業務提携について(1)

1.資本業務提携に至った背景

- ・今後の事業環境は、コンピュータ技術の進化・多様化がますます加速すること
- ・長年協業関係にあり両社の理解と信頼に基づき中長期に事業シナジーが期待できること
- ・グループ入り後も当社グループの経営の自主性が維持されること

2.経緯

2009.12.21 当社とNTTデータとの間で資本業務提携契約を締結

2009.12.22 NTTデータによる当社株式の公開買付けの開始
⇒買付予定数:7,071,000株 買付価格:当社普通株式1株につき400円

2010.2.22 公開買付けの成立
⇒買付数:7,071,900株

2010.3.1 NTTデータの連結子会社となる
(本年3/31現在の同社の当社に対する議決権比率は、50.81%)

■ NTTデータとの資本業務提携について(2)

3. (当社グループにおいて期待される) 事業シナジー

- ☆ ソフトウェア開発事業：
両社の有する技術、ツール、ノウハウを共有することによる生産性や採算性の向上と受注の増加
- ☆ オリジナルパッケージ開発及び販売事業：
営業情報の共有や両社の製品の販売連携などによる事業の拡大
- ☆ そのほか、共通購買によるコストの低減や人材交流によるスキルアップなどのグループメリット



次期(2010年度)の業績予想

業績予想サマリー(連結)

厳しい環境が継続するが、NTTデータとの
業務提携をバネにして復調を見込む

(単位:百万円)

	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	10年度 (2011.3期)	増減 (前期比)	
売上高	12,843	10,360	11,800	+1,439	13.9%
営業利益	808	21	360	+338	-
経常利益	773	189	400	+210	111.4%
当期純利益	687	43	330	+286	663.5%
ROE(%)	6.71	0.42	3.18	+2.76	
EPS(円)	48.30	3.11	23.58	+20.47	
配当金(円)	12.00	9.00	9.00	+0.00	

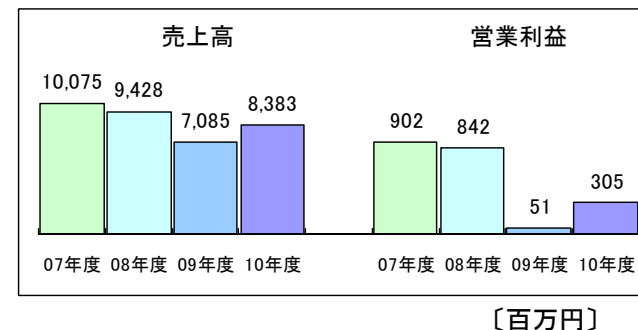
セグメント別 業績予想(連結)

- ・ソフトウェア開発は、NTTデータとの連携を強化し、グループ内外とも受注の増加を見込む
- ・オリジナルパッケージは、利益の獲得に向け展開を加速させる

		08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	10年度 (2011.3期)	増減 (前期比)	
売上高	ソフトウェア開発	9,428	7,085	8,383	+1,297	+ 18.3%
	ネットワーク機器・システム商品販売	1,529	1,561	1,567	+5	+ 0.3%
	オリジナルパッケージ開発及び販売	1,379	1,282	1,390	+107	+ 8.4%
	ハードウェア組立	478	405	430	+24	+ 6.1%
	その他	26	25	30	+4	+ 15.5%
	合計	12,843	10,360	11,800	+1,439	+ 13.9%

営業利益	ソフトウェア開発	842	51	305	+253	+490.5%
	ネットワーク機器・システム商品販売	△41	△8	△11	△2	—
	オリジナルパッケージ開発及び販売	1	△25	71	+96	—
	ハードウェア組立	△13	△14	9	+23	—
	その他	19	15	△14	△29	—
	合計	808	21	360	+338	—

ソフトウェア開発事業の概況



〔共通〕

景気の低迷により、情報化投資の回復が望みにくいなか、技術の進化、多様化が加速するなど、業界を取り巻く事業環境が変化していく

- NTTデータの有する技術、ツール、ノウハウを利用することにより生産性や採算性を高める
- 受注管理と稼働管理の徹底、プロジェクト単位の採算管理・品質管理の強化を継続する

業務アプリケーション

各業種、分野とも投資抑制傾向が継続するが、TCOや、企業統合・再編に関連した開発需要は見込める

- きめ細かな社内及びグループ内の営業連携により開発案件の獲得を増加させる
- 証券、生損保などの金融機関には、案件の見込める既存のお客さま向けの提案営業を強化する

組込ソフトウェア

メーカーの投資抑制や内製化が継続し、依然として開発の期間は短く、小規模の状況が続く

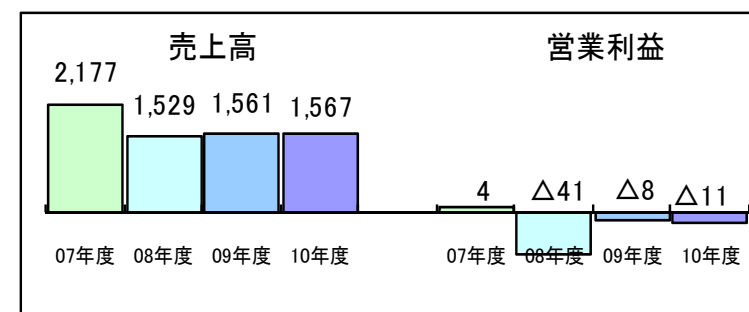
- 携帯電話関連の案件獲得以外にも通信システム関連やデジタル家電関連の開発案件の獲得を図っていく
- 検証サービス業務など、組込ソフトウェアに関連した案件を積極的に受注する

ネットワーク機器・ システム商品販売事業の概況

法人企業向けは、企業収益の回復の動きが鈍く、低調に推移する

文教、自治体向けなど比較的需要の見込める案件は競合他社との競争が続く

- 文教向け案件では、ニーズに応じたきめ細かなソリューション提案を行うことにより受注を確保する
- 法人企業向けには、ソリューションの提案営業を重ね、需要の掘り起こしに努める
- *Nature*シリーズやOCRパッケージなどオリジナルパッケージ開発及び販売事業と連携したセミナーの開催やB P営業の推進を図る



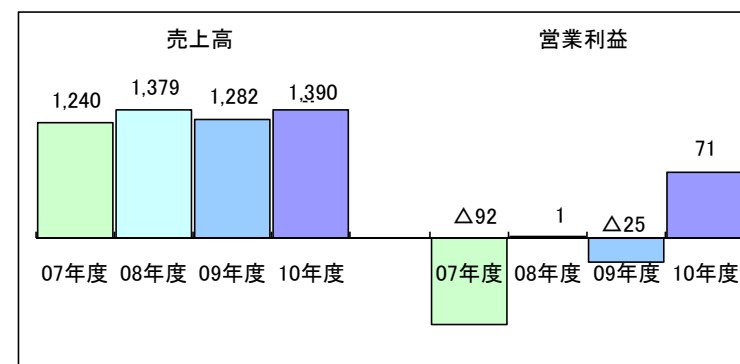
[百万円]

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

OCRソフト関連（メディアドライブ）は、OCRソリューション、ライセンス販売、パッケージ流通それぞれで引き続き利益の獲得を図っていく

*Nature*シリーズは他社パッケージへのバンドルや大手エンドユーザへのアプローチなどを進め、マンション管理システムは、製品の機能強化などによる案件の掘り起こしと獲得に向けた動きを強める

その他のカテゴリでは採算ラインに向けた拡販を図る一方、今後の製品やコンテンツの展開について、見極めを行う



〔百万円〕

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

Natureシリーズ

経営環境が厳しいなか、狙いを鮮明にし、業績に即効性のあるBIツールが強く求められる

■ 主なNatureシリーズの目標販売本数

製品名	10年度			09年度
	上期	下期	通期	通期
DataNature/E	29	36	65	62
DataNature 6	430	534	964	846

- 前期からの継続案件や見込み案件の獲得に注力する
- 大手エンドユーザへの拡販の動きを強めていく
- ビジネスパートナーやNTTデータと協業して、他のパッケージとの連携や、SI案件への組み込みを図っていく

マンション管理システム

マンション管理会社はマンション管理適正化法への対応やサービスメニューの充実が必須となる

■ マンション管理システムの目標販売セット数

製品名	10年度			09年度
	上期	下期	通期	通期
FMS-V2	4	15	19	6
FMS-Info	0	3	3	1
FMS-工事	0	1	1	1

(注)FMS-V2のセット数には、バージョンアップ分も含んでおります

- 製品の機能強化により、導入済みのお客さまからのバージョンアップ案件の獲得を推し進める
- セミナー営業により製品の特徴をアピールし、新規案件の掘り起こしを行う

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

BUIソリューション

携帯電話を活用したデータ活用アプリケーションの需要が広がる一方で、コンテンツの多様化と技術の変化が進む



- 法人向けは、「快速！交通費」など引き合いのあるコンテンツを中心に販売を推し進める
- 個人向けは、一部コンテンツの有料化を行うとともに、利用者の増加に向けた宣伝、広告を継続する

セマンティックソリューション

毎年常態化している会計基準の変更や、国際会計基準の適用開始などにより、上場会社や監査法人などの企業開示情報の分析ニーズがますます高まる



- 大手監査法人などの大口顧客への直販を推し進める
- 専門情報サービス提供会社との連携を探り、拡販を目指す

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況 (メディアドライブ)

OCRソリューション

情報セキュリティへの意識の高まりや業務の効率化などにより紙文書を電子化するニーズは拡大する

- 医療、人事、文教関連など、引き続き引き合いの多い分野をターゲットに、事例紹介などの告知活動を進めニーズの掘り起こしに努める
- 画像検索・音声検索技術を情報分析や業務効率化に使った受託案件の獲得にも注力していく

ライセンス販売

複合機市場の成長の鈍化に伴い伸長が見込めない

- OCR認識エンジンの性能の向上を図り、継続して複合機向けのライセンス販売の受注を確保する
- 複合機以外のライセンス販売の拡大に向け、他社とのアライアンスを進める

パッケージ流通

店頭流通市場は話題性のある製品や人気製品に厳選される一方で、携帯端末機向けアプリケーション市場が急速に伸びている

- 店頭流通製品の機能の強化のほか、携帯端末機向け製品についても研究開発や製品化を進めていく
- 主なOCRパッケージの目標販売本数

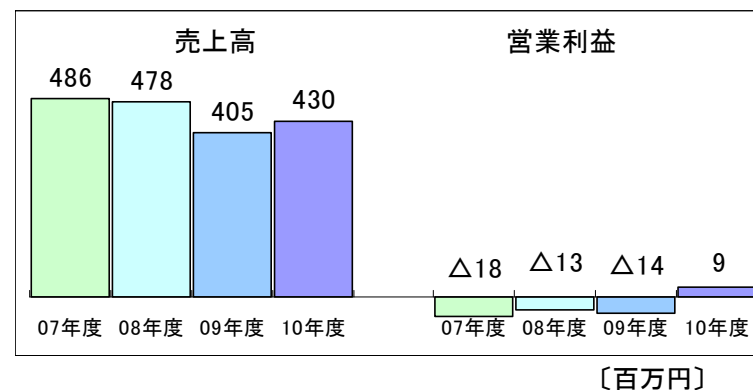
製品名	10年度			09年度
	上期	下期	通期	通期
やさしく名刺ファイリング	6,000	7,000	13,000	14,457
e.Typist	3,500	2,500	6,000	4,362
やさしくPDFへ文字入力	2,500	3,000	5,500	5,717

ハードウェア組立事業の概況 (NJKテクノ・システム)

主要取引先からの受注は短期間での回復は期待できない



- 技術サービスや修理業務を中心として主要取引先以外からの受注をさらに伸ばしていく
- 稼働管理の徹底や社内の製造体制の見直しを行い収益の改善に向けた動きを推し進める



会社別業績予想

〔百万円〕

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
NJK(個別)	2009.3期	11,364	620	605	600
	2010.3期	8,941	△149	24	△23
	2011.3期	10,500	240	300	280
NJKテクノ・システム	2009.3期	740	6	9	△9
	2010.3期	657	△12	△6	△23
	2011.3期	600	18	20	20
メディアドライブ	2009.3期	890	179	184	125
	2010.3期	922	180	183	103
	2011.3期	892	107	109	64

代表取締役の異動について（6月18日ー予定）

	新役職	現役職
谷村 直志	代表取締役会長	代表取締役社長
谷村 仁	代表取締役社長	取締役副社長 社長補佐

新体制

会長（CEO）：グループ3社の業務執行を総覧するとともに、
NTTデータとの業務提携を推進する。

社長（COO）：当社の業務全般を執行し、その活動を統括する。



付属資料

会社概要

親会社

(株)エヌ・ティ・ティ・データ

株式会社 エヌジェーケー

本社 : 東京都目黒区
 設立 : 昭和48年11月
 上場日 : 平成13年11月6日
 市場 : 東京証券取引所市場第2部
 資本金 : 42億2242万5000円
 従業員数 : 686人(平成22年3月末日)
 事業内容 : ソフトウェア開発
 ネットワーク機器・システム商品販売
 オリジナルパッケージ開発及び販売

連結子会社

メディアドライブ(株)

設立 : 平成3年11月
 資本金 : 4億円
 事業内容 :
 オリジナルパッケージ開発及び販売
 ネットワーク機器・システム商品販売
 ソフトウェア開発

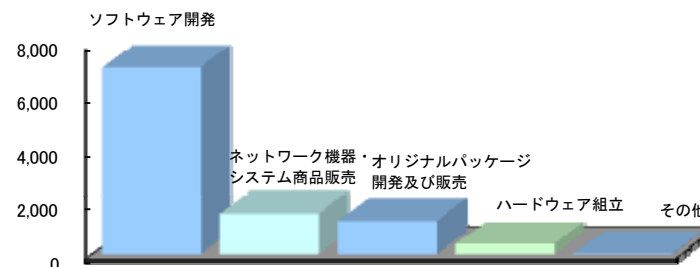
エヌジェーケーテクノ・システム(株)

設立 : 昭和44年6月
 資本金 : 7,978万円
 事業内容 : ハードウェア組立
 ソフトウェア開発

経営の基本方針

「健全なコンピュータ・ネットワーク社会の実現に向けて、常に最適なソリューションを提供し続ける」

当期の売上高（百万円）と従業員数（人）



	ソフトウェア開発	ネットワーク機器・システム商品販売	オリジナルパッケージ開発及び販売	ハードウェア組立	その他	計
売上高	7,085	1,561	1,282	405	25	10,360
従業員数	602	26	77	15	1	770
執行会社	NJK					
	メディアドライブ					
						NJKテクノ・システム

- ・ソフトウェア開発事業 : 基幹系システム関連、セキュリティ関連、Web関連、モバイル関連、データベース関連、ネットワーク関連などのシステムの開発やテクニカル支援サービス
- ・ネットワーク機器・システム商品販売 : 情報関連機器の販売及びネットワークシステムコンサルティング・設計・導入設置・保守・運用支援・その他サービス、TV会議システムなどの各種システム商品の販売
- ・オリジナルパッケージ : 文字画像認識ソフト、音声認識合成ソフト、ファイリングソフト、BUI技術を使用したNatureシリーズ及びBUIソリューション、マンション管理システム、セマンティックソリューションなどのオリジナルパッケージソフトの開発・販売
- ・ハードウェア組立 : 各種電子基板及びコンピュータ関連機器の組立ならびに検査
- ・その他 : 不動産賃貸